

## 令和5年第1回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	1	四 本 奈 緒 美	<p>1 AYA世代がん患者への在宅療養支援について ※ AYA世代とは思春期・40歳未満のがん患者のこと Adolescent and Young Adult</p> <p>2 県道惣新田幸手線バイパス道路事業に伴う幸手市の未来像について</p>	<p>AYA世代のがん患者、特に20歳以上40歳未満の若年のがん患者は、ターミナル期（終末期）の在宅療養を希望しても、公的支援が整っていないため、介護支援や経済的にも安心して在宅でターミナル期を過ごせない現状にある。</p> <p>(1) 幸手市の末期がん患者の在宅ターミナルケア支援の現状について伺う。</p> <p>(2) 令和3年9月より加須市において「若年者在宅ターミナルケア支援事業」が開始されている。事業内容を伺う。</p> <p>(3) 若年の末期がん患者の方が、住み慣れた自宅で家族とともに安心して自分らしい生活が過ごせるように、在宅療養生活の為にサービスの利用料の一部を助成し、在宅ターミナルケアを支援する必要があると考えるが市の見解を伺う。</p> <p>県道惣新田幸手線バイパスの整備事業が令和4年度から本格的に開始された。事業実施に伴い昨年11月13日に吉田地区・八代地区での事業説明会も実施された。</p> <p>(1) 昨年の事業説明会以降の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 県道惣新田幸手線バイパスは国道4号バイパスに接続をする。外環道から東埼玉道路も建設が進んでおり、将来的には幸手インターチ</p>

				<p>ェンジへの車両の流れが大きく変化していくと予想される。幸手市は県道惣新田幸手線バイパスの整備事業の目的と周辺整備の構想について、市の政策としてどのように考えているかを伺う。</p> <p>(3) 現在、国土交通省では、2020年から2025年までを「道の駅」第3ステージと位置付け、「地方創生・観光を加速する拠点へ」進化するため、「道の駅」を核にした地方創生「道の駅」の持続可能な安定運営」を目指した取り組みを推進している。各省庁の支援メニューも豊富である。幸手市も県道惣新田幸手線バイパスの開通と共に、幸手市に必要な設備を整えた幸手市の新たな東の玄関口として、幸手市の魅力を発信し、賑やかに人が集まる「道の駅」が必要と考えるが市の見解を伺う。</p>
2	10	松田雅代	1 年末年始の医療体制、新型コロナウイルス感染症対応体制について	<p>新型コロナウイルス感染症が未だ終息を見ない中、昨年11月、厚生労働省より、「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制等の整備について」として、全国の都道府県、保健所設置市、特別区の衛生主管部（局）に宛て、「外来医療体制整備計画」の策定依頼が通知されていた。医療に関する事務は、国や県の所掌であり、幸手市においても埼玉県の本整備計画に則り、休日当番等の体制が整備され、医療が提供され、市民の健康が守られていると考えているが、年末年始においては市民の中に多少の混乱もあり、改めて状況を整理しておきたい。</p> <p>(1) 改めて、この度の「外来医療体制整備計画」において、年末年始の体制整備の中で市に求められていた役割、セルフチェックなど市民に求められていた備え・準備を伺う。</p>

			<p>2 職員の最高のパフォーマンスを引き出す職場環境について</p> <p>3 第2期「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」の成果について</p>	<p>(2) 年末年始期間中の発熱外来の受診希望者の状況等、今後の参考となる市民からの意見や事例等が把握されていれば伺う。</p> <p>(1) 会計年度任用職員について、欠員補充等の課題解消に向け、登録制度等の検討を提起していたが、その後の検討状況を伺う。</p> <p>(2) 昨年6月、第6次総合振興計画後期計画策定のための職員意識調査の設問で、職員の29.6%が「職員の適正配置・組織の統廃合を行い、組織体制を整える」を選択したことについて、追跡調査が必要だと、昨年12月議会で問題提起したが、その後の対応を伺う。</p> <p>(3) 職員の事務量からみた職場環境の現状と課題を伺う。</p> <p>(4) 職員の休暇取得の現状と課題を伺う。</p> <p>(5) 職員のスキル・アップ、モチベーション・アップなど、人財育成の現状と課題を伺う。</p> <p>(6) 機構改革、新規採用、定年延長等の影響を含め、今後の対策を伺う。</p> <p>(1) 人口の転出超過数、合計特殊出生率の推移・現況を伺う。</p> <p>(2) 来年度、強化する取り組み・対策を伺う。</p>
--	--	--	--	---

3	1 2	藤 沼 貢	1 人口減少問題について  2 幸手駅西口のまちづくりについて	(1) 昨年1月から12月までの人口動態について伺う。  (2) 人口動態の状況をどのように捉えているのか伺う。  (3) 人口減少対策会議、幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議での議論や検討内容について伺う。  (4) 今後の取り組みについて伺う。  (1) 西口駅前に民間企業の進出を促すような取り組みについて、これまでも提案してきたが、その後の動向について伺う。
4	2	坂 本 達 夫	1 本庁舎の建て替え方針について  2 市役所入口交差点について  3 防災行政無線「家に帰りましょう」の放送について  4 農業集落排水事業特別会計について  5 中5丁目小公園付近の浸水対策について	(1) 市役所本庁舎は建て替え方針だけでなく、既存の建物を利用することも検討すべきではないか。市長の見解を伺う。  (1) 市役所入口交差点の右折禁止解除の進捗状況を副市長に伺う。  (1) 試験放送の検証結果を伺う。  (2) 子供たちの放送による教育的効果を教育長に伺う。  (1) なぜ、特定地区だけの事業なのかを伺う。  (2) この事業を幸手市全体に拡大させるのか、縮小させるのかを伺う。  (1) 浸水対策として、水路の付け替えの実現可能性を伺う。

5	4	小林 英雄	1 都市再生機構の団地再生事業について	<p>(1) 令和3年6月議会の一般質問で、幸手団地6街区の開発に際して意見、提案をした。その意見等を参考にし、都市再生機構と協議を進めていきたいとの答弁をいただいたが、その後の進捗状況について伺う。</p>
6	7	本田 謡子	<p>1 いじめ問題について</p> <p>2 防災について</p>	<p>(1) 令和5年1月5日、市ホームページ公表のいじめ問題調査報告書について、幸手市及び幸手市教育委員会としての見解とその対応を伺う。</p> <p>(2) 子どものいじめに関連する委員会にはどのような委員会があるのか伺う。</p> <p>(3) それぞれの委員会の議事録は公開されているのか伺う。</p> <p>(4) いじめに関連する委員会の合同研修や情報交換などが必要と考えるが、市としての見解を伺う。</p> <p>(5) 委員会それぞれに、風通しを良くするために2,3割の「市民枠」をつくることを提案するが、市としての見解を伺う。</p> <p>(6) 小学生低学年向けに、道徳授業の権威と言われている山西教育長のいじめに対する講話や道徳の授業を、各小学校で直接受けることができる施策はいかがかを伺う。</p> <p>令和元年6月議会から4年間、毎回のように、防災についての一般質問をしてきました。今回、総まとめとして、それぞれの進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 災害時要支援者の個別計画書</p>

				<ul style="list-style-type: none"><li>(2) 自主防災の組織率</li><li>(3) 市の助成を受け取得した防災士</li><li>(4) 災害時の市ホームページの表示方法</li><li>(5) 避難場所、避難所の設営・運営等の協力</li><li>(6) 移動型防災無線の使用</li><li>(7) 幸手市地域防災計画の見直し</li><li>(8) 自治体や企業、あるいは関係団体などとの応援協力の締結</li><li>(9) 広域避難の手法や場所等</li><li>(10) 段ボールベッド（令和2年3月議会：備蓄品にない）</li><li>(11) 全職員の防災ヘルメット</li><li>(12) パルスオキシメーター、非接触型体温計、次亜塩素酸</li><li>(13) 広報車運行の具体的な防災関係のマニュアル</li><li>(14) 各避難場所における担当職員の配置と施設との協議</li><li>(15) ファーストミッションボックス</li></ul>
--	--	--	--	---

7	13	青木章	<p>1 天神の湯等の対応について</p> <p>2 市長の通勤手当支給について</p> <p>3 市長公約について</p>	<p>(1) 天神の湯開館から現在までの経緯について</p> <p>(2) 利用者数の推移について</p> <p>(3) 休館の時期とその理由について</p> <p>(4) 老人福祉センター浴室の廃止時期とその理由について</p> <p>(5) アスカル幸手のシャワー施設が、いつから利用出来ないのか。また、その理由について</p> <p>(1) 市長が提出をし、条例改正してまで通勤手当を得ようとした理由について</p> <p>(2) 審議会、実行委員会など市民に対して、市役所で行う会議に対する交通費支給の実態について</p> <p>(3) 議員の費用弁償支給停止の経緯とその時期について</p> <p>(4) 令和4年第4回定例会に提出した、議案第58号幸手市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例(市長の通勤手当支給)撤回し取り下げた具体的な理由について</p> <p>(1) 市長公約の主な内容と、その進捗状況について</p> <p>(2) 任期中での公約達成見込みについて</p>
---	----	-----	--	---

8	8	小河原 浩和	<p>1 吉田幼稚園の跡地利用懇談会の開催により、今後の市の方針や市長の考え方を伺う</p> <p>2 駅ピアノの準備状況を伺う</p> <p>3 2018年12月「3市3町における広域連携による結婚支援に関する協定」が締結されたが、現状と今後の方針を伺う</p>	<p>(1) 懇談会の内容について市長に伺う。</p> <p>(2) どのような意見が有ったのか市長に伺う。</p> <p>(3) いろいろな媒体を通して跡地利用の問い合わせが来ていると思うが、現在どのようなものがあるか市長に伺う。</p> <p>(4) 魅力的な跡地利用について市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 吉田幼稚園の備品利活用として、ピアノを桜まつりに駅の通路に試験的に置くとの答弁がありましたが、現在の準備状況や設置方法について伺う。</p> <p>(2) 桜まつり終了後も常設したほうが良いと考えるが所見を伺う。</p> <p>(1) 現在の状況と今後の方針を伺う。</p> <p>(2) 他の2市3町の現在の状況を伺う。</p> <p>(3) 幸手市で出会い、結婚・出産・子育てをしていただけるような方策は考えているのか伺う。</p> <p>(4) 魅力的な幸手市になるための決意を市長に伺う</p>
9	9	小林 啓子	1 幸手市の防災対策について	<p>本年は、2011年3月11日東日本大震災より間もなく12年を迎える。</p> <p>(1) 幸手市として、東日本大震災を教訓として取り組んできた防災事</p>

			<p>2 健康寿命について</p>	<p>業について伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染予防渦中の中で、防災対策はどのような影響を受けたかについて伺う。</p> <p>(3) 今年、幸手市防災訓練の計画はあるのかを伺う。</p> <p>(4) どのような体制で行うのかを伺う。</p> <p>(5) 東日本大震災では、自宅に残したペットを迎えに戻り津波に巻きこまれたケースもあった。ここ数年、少子化やコロナ禍で、動物を飼う人が増えている。震災を機に、環境省は同行避難を基本とする指針を策定した。幸手市としてどのような同行避難を考えているのかを伺う。</p> <p>(6) 同行避難については、飼い主の情報収集や備えも大事である。飼い主によって認識の差が出ないためにも幸手市として日頃から周知していくことが必要と思うが、考えを伺う。</p> <p>(7) 改正航空法が昨年12月に施行され、市街地などの上空で、操縦者の目が届かない距離でもドローンを自動で飛ばすことが解禁された。ドローンの用途が大きく広がっていくと考える。今後の幸手市の考えを伺う。</p> <p>人生100年という時代に入った。年を重ねても元気に暮らしたい、多くの人が抱く願いである。厚生労働省は、日常生活を支障なく送れる期間を示す「健康寿命」の都道府県別の数値を発表しており、地域によっては差がある。全国健康寿命ランキングを見ると1位が男性73.72</p>
--	--	--	-------------------	---

歳で大分県、2位は73.57歳で山梨県、そして3位は73.48歳の埼玉県である。女性については、1位が77.58歳で三重県、2位は76.74歳で山梨県、3位は76.71歳で宮崎県、埼玉県は20位となっている。

- (1) 健康寿命における埼玉県の男女別ランキングの差はどのように考えられるのか、幸手市の現状を伺う。
- (2) 幸手市においては、骨粗しょう症の集団検診は何年度から行っているのかを伺う。
- (3) 高齢者人口に対しての検診割合、効果、今後の課題について伺う。
- (4) 介護予防・健康づくりガイドの冊子が「2月号さって広報」に折り込まれ、全戸配布された。近年、介護予防で取り組まれている「フレイル」「ロコモティブシンドローム」のことや、「あたまの健康チェック」「出前講座」等解かりやすく掲載されている。この冊子はいつ掲載されていくのかを伺う。
- (5) 「あたまの健康チェック」については今日まで何人の高齢者が受けているのかを伺う。また、効果と今後の課題について伺う。
- (6) 介護予防・日常生活支援総合事業においては、幸手市の高齢者人口に対して何割の高齢者が関わっているのかを伺う。
- (7) 今年に入り、認知症の6割を超えるアルツハイマー病の新薬「レカネバブ」が日本でも厚生労働省に承認申請された。2025年には高齢者の5人に1人(700万人)が認知症と推計される。昨年、全国の公明党議員が行ったアンケートでは、高齢者支援で、心配なこ

			<p>3 幸手市の児童生徒の読書推進について</p>	<p>との選択肢を複数挙げ、「自分や家族が認知症になったとき」との回答が約64%で一番多かった。幸手市においては、第6次幸手市総合振興計画実施計画（令和4年度～令和6年度）に「いつまでも健康で安心して暮らせるまち」を掲げ、事業計画として、見守り感知器の設置と見守り機器の貸与の実施の推進を行っている。現在、何人の市民が見守り機器を貸与しているのかを伺う。</p> <p>(8) ここ数年、何人の徘徊者がいるのかを伺う。</p> <p>(9) 今後の取り組み内容について伺う。</p> <p>(10) 人口減少、少子高齢化の幸手市においては、今後DX（デジタルトランスフォーメーション）の存在は欠かせない。以前の一般質問でも高齢者のスマホ教室等について行った。現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(11) SNSの時代にあって、特に中高年の世代はLINEをスマホで活用する。幸手市においては、公式LINEの取り組みがされていない。高齢者の利便性のためにも開設をするべきと考える。シティプロモーションの立場から伺う。</p> <p>AI・デジタル時代だからこそ、児童生徒が読書に親しむことが大事と考える。</p> <p>(1) 現在の児童生徒の読書活動について伺う。</p> <p>(2) これからの幸手市の教育において、読書の重要性を教育長に伺う。</p>
--	--	--	----------------------------	---

10	3	海老沼隆夫	<p>1 アライグマ被害対策について</p> <p>2 幸手市の人口減少防止対策等について</p> <p>3 危険な県道・市道について</p>	<p>(1) アライグマ被害対策の捕獲機(箱罠)を10箱以上増やし、1か月や2週間待ちなどの間の度重なる被害をなくす対策が必要です。被害を受けている多くの市民が、被害増にならないためにも一刻も早い捕獲機設置を希望していますが、アライグマの重なる被害防止の為、箱罠10箱以上購入は可能か伺います。</p> <p>(1) 幸手市で育った若者たちが、引き続き幸手市に住み続けたいと思えるように、他市では実現して来ている小中学校での給食費の無償化や、18歳までの医療費の完全補助・支援は、幸手市でも出来るか伺います。</p> <p>(2) 幸手団地、栄地区住民の高齢化に伴い、これまでに繰り返し訴えて来たエレベーターの設置は、高齢化した栄地区市民が普段の生活を送るためにはどうしても必要です。設置に向けたUR都市機構への働きかけは、引き続きお願い出来るか伺います。</p> <p>(3) 繰り返し訴えて来たこの件に対して、幸手市として、何か予算を組んだ支援計画は立てられているか伺います。</p> <p>(1) 埼葛広域農道の水道部前から圏央道下を過ぎた後、幸手市老人福祉センター西側のセブンイレブン前十字路交差点までの急な右カーブ、外側線もセンターラインも消え、夜半だけでなく日中も大変危険です。幸手市民が安全走行が出来るように、至急対策を講じる必要がありますが、何か対策は可能か伺います。</p> <p>(2) 杉戸町八幡香取神社前から県道惣新田幸手線天神橋西側の左急カーブと交差する手前までの約2kmの直線道路。幸手地域内道路も路面が大変荒れて危険です。路面の修繕は可能か伺います。</p>
----	---	-------	---	--

1 1	1 5	大 平 泰 二	<p>1 桜泉園ゴミ焼却施設解体問題</p> <p>2 新庁舎建設問題</p> <p>3 水道水汚濁問題</p>	<p>以下の内容について市長に伺います。</p> <p>(1) 2002年に稼働停止した焼却施設のダイオキシン類除去及び耐震性について (資料提出)</p> <p>(2) 放置してきた焼却施設の解体計画及び現在のダイオキシン類飛散防止対策と残留値の測定について</p> <p>(3) 閉鎖時の施設内、各地域のダイオキシン類測定結果 (資料提出) 及び除去について</p> <p>(4) 解体に必要な財源確保及び見通しについて。令和5年の予算化を見送った要因について</p> <p>以下の内容について市長に伺います。</p> <p>(1) 施設の概要と市民との合意形成について</p> <p>(2) 消防署建設、焼却施設解体、西口土地区画整理を進めた場合、新庁舎建設の年次計画と資金確保見通しについて</p> <p>(3) 現庁舎の耐震工事費用</p> <p>(1) 損害賠償請求に対する対応のあり方について、どのように総括したか伺います。</p> <p>(2) 各々の損害賠償請求の根拠について伺います。(請求資料提出)</p>
-----	-----	---------	--	--

			<p>4 治水対策</p> <p>5 神扇地区ゴミ屋敷問題</p> <p>6 駅西口土地区画整理関連</p>	<p>(3) 「破損した」とするフィルターの設置図と仕様について</p> <p>(1) 大中落し牛村病院前架け橋による川幅狭窄で上流下流の水位差発生の確認方法についてその計算式と数値の根拠について伺います。 (設計条件資料提出)</p> <p>以下の内容について市長に伺います。</p> <p>(1) 防火対策について</p> <p>(2) 「特定空き家」に指定する考えの有無について市長に伺う。</p> <p>(3) 相続人の調査結果と今後の対応について</p> <p>以下の内容について市長に伺います。</p> <p>(1) 水道、下水道、公園、土地開発公社買戻し等全ての総工事費とその内訳について (資料提出)</p> <p>(2) 予定される保留地処分の最大面積から最小面積とその金額と売却計画について</p> <p>(3) 市債発行総額と元利償還額の総額について</p> <p>(4) 工事費総額約76億円とする積算根拠と工期について (資料提出)</p>
--	--	--	--	---

1 2	1 1	木 村 治 夫	<p>1 幸手駅東・西口に指定喫煙所の設置について</p> <p>2 まちづくりについて</p> <p>3 公園整備について</p>	<p>(1) 市長へ喫煙ブース設置要望書等が提出されているが、その取扱い、また、庁議で検討されたのか。また、どのように対応されたのか、その後の進捗について伺います。</p> <p>(2) 幸手市路上喫煙の防止に関する条例を制定し、駅東西口周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、指定喫煙所を設置する考えは、市としてあるのか伺います。</p> <p>(3) 市がこれまで行ってきた受動喫煙対策、また、その費用について伺います。</p> <p>(1) 中心拠点の幸手駅周辺に、まちの顔となる都市機能を集積し、拠点形成を目指していると考えますが、現在までの進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 駅周辺の歩行者に配慮した歩道整備、また、自動車利用に対応した道路、駐車場整備状況について伺います。</p> <p>(1) 市内の都市公園、緑地帯の適正な維持管理状況について伺います。</p> <p>(2) 市民の健康づくりの場、憩いの場、運動及び遊びの場を提供されているが、新たな小公園整備、また、スケートボード練習場等の設置の検討はされているのか伺います。</p>
1 3	5	枝 久 保 喜 八 郎	1 カーボンニュートラルについて	<p>(1) 2021年12月議会で太陽光発電の学校屋上や企業工場の屋根への設置を提案しましたが、その後の経緯について伺います。</p>

			<p>2 幸手市強靱化防災対策について</p> <p>3 人口減少防止対策と財政・予算の健全な構築について</p> <p>4 教育問題について</p>	<p>(1) この3年半で進捗した内容の詳細について伺います。</p> <p>(1) この3年半の流入と流出の数値について伺います。</p> <p>(2) 防止対策は広範囲に及ぶが、財政状況に配慮した予算措置という観点から活路を見いだせる先進的な対策をどのように構築されていくかについて市長に伺います。</p> <p>(1) ネット社会は子どものみならず大人の社会でもスマホ依存が進んでいますが、小中学校現場で問題となっている事象があるのかどうか伺います。</p> <p>(2) 2021年6月議会で市内中学生の自殺未遂事件の実態について質問をした経緯がありますが、その現状を示す内容が本年1月に新聞報道されました。そこで、改めてこの事件の経緯・状況と今後の対応について教育長に伺います。</p>
14	14	武藤 壽 男	<p>1 行政課題の進捗状況と財政状況について以下市長の見解を伺います</p> <p>2 市の一般会計から負担すべき各会計、各事業に対する財政支出動向について</p>	<p>(1) 行政課題が山積していますが、その進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 現在の財政状況について伺います。</p> <p>(3) 現在の状況の要因について伺います。</p> <p>(1) 国民健康保険特別会計</p> <p>(2) 後期高齢者医療特別会計</p>

			<p>3 令和5年度予算の各種計画に対する進捗状況と対応について</p> <p>4 今後の市政運営について</p>	<p>(3) 介護保険特別会計</p> <p>(4) 公共下水道事業特別会計</p> <p>(5) 幸手駅西口土地区画整理事業特別会計</p> <p>等に対する繰出し金、負担金等の財政支出動向と今後の推計について伺います。</p> <p>(1) 幸手市公共施設個別施設計画</p> <p>(2) 幸手市水道事業経営戦略</p> <p>(3) 幸手市公共下水道事業経営戦略</p> <p>(4) 幸手市幸手駅西口土地区画整理事業計画</p> <p>等の計画に対しどの様に対応なされたのか、持続可能か、また、整合性を伺います。</p> <p>(1) 確な財政計画の必要性を伺います。</p> <p>(2) 事業計画と資金計画の一体化について伺います。</p> <p>(3) 持続可能な市政運営のための、財政状況を安定させる方策を伺います。</p>
--	--	--	---	---